2024 年度事業報告

1.全体概況

・2024 年度は、業績に大きな影響を及ぼすような外的要因(コロナ感染症拡大など)の発生が無く、会館運営は概ね事業計画に沿い順調に推移しました。
・実施事業については、公益目的支出計画に沿い継続的に事業を展開してきましたが、2024 年度終了時点において公益目的財産が零円になったことから、当期をもって終了することとなりました。
・会館運営に必要不可欠となる収益事業(宿泊〈一般〉・貸室・販売・会議室・駐車場事業)については、部門全体として事業計画以上の実績を残すことができました。
・財務体質強化に向け事業計画に沿い修繕費用積立 3,000 万を中心とした特定資産の積立てを実施しました。また、当期事業結果により流動資産の増加をはかることができました。
・しかしながら、将来に向けた大きな課題として、大口かつ継続的テナント契約先となっている「さいたま市役所」が令和 13(2031)年度中に移転することが決まっており、急激な経営環境の変化(大幅な収入減の可能性)に備えた更なる財務体質強化(計画的積立の実施や各事業の在り方及びコスト削減)を行うことが求められる状況となっています。

(1)事業収入(経常収益)

・2024 年度の会館事業全体の収入（経常収益）は、208,985 千円となり、予算額（事業計画）205,400 千円に対して、達成率 101.75%となりました。
・過年度からの実績推移及び事業計画対比は下表のとおりです。

年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		
経常収益	198,730	261,321	224,057	206,909	252,131		
年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度予算	達成率
経常収益	205,215	210,082	212,939	222,080	208,985	205,400	101.75

(千円単位端数切捨・%)

(2)経常費用

・一方、経常費用は 176,898 千円となり、予算額(事業計画)187,260 千円に対して、94.47%の執行（達成)率に収めることができました。
・例年、各年度の会館維持管理計画等により変動要素が大きくなる修繕費ですが、設備関連の予期せぬ補修・修繕対応(主に猛暑による空調関連機器故障)があり若干予算超過となったものの、概ね事業計画に沿った執行額となりました。
・また、消耗什器備品費に予算化を行い、5 階大ホールの机・椅子及び演台のリニューアルを実施しました。(2023 年度に小・中ホールの机・椅子リニューアル済み)

・過年度からの実績推移及び事業計画対比は下表のとおりです。

年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		
経常費用	174,936	223,350	182,305	186,224	203,484		
年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度予算	達成率
経常費用	169,179	182,166	177,541	181,834	176,898	187,260	94.47

(千円単位端数切捨・%)

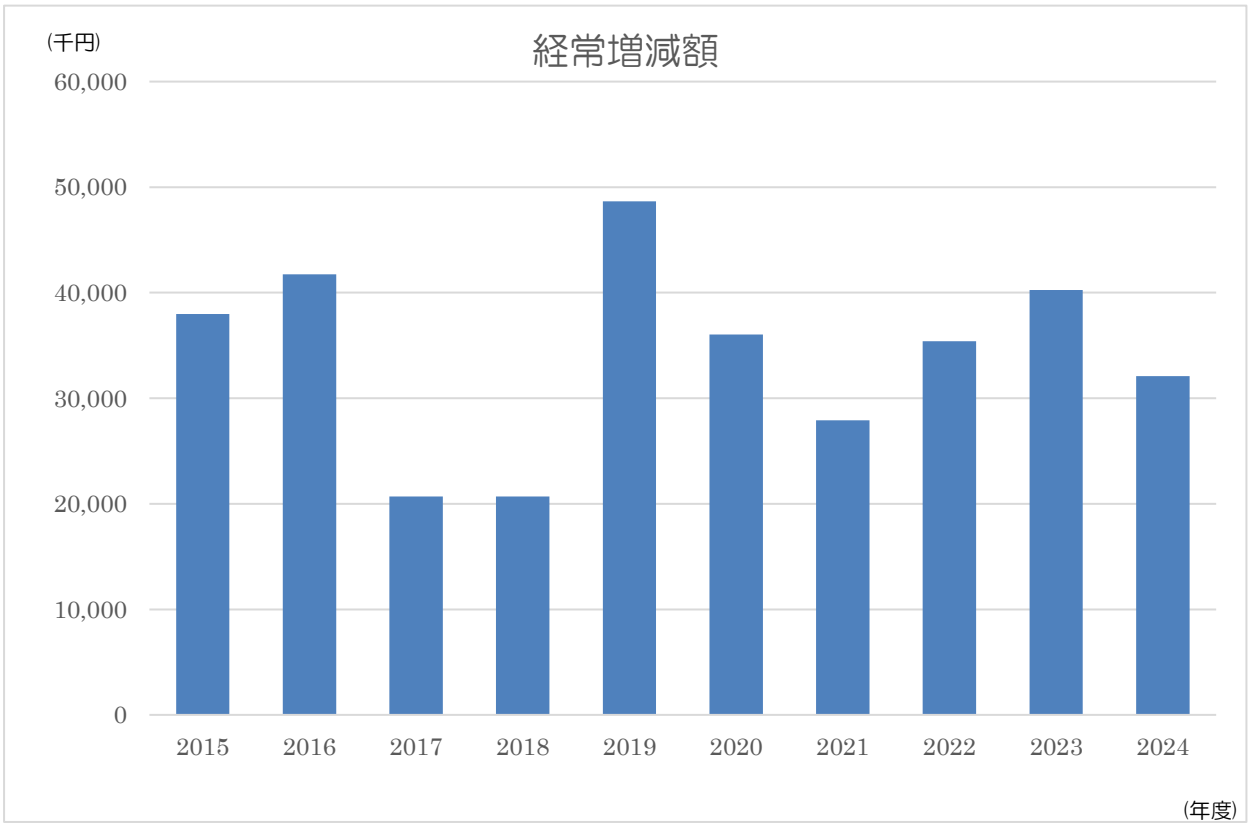
(3)収支差額(経常増減額)

・この結果、(1)の事業収入(経常収益)から(2)の経常費用を差し引いた収支差額(経常増減額)は、予算額(事業計画)18,140 千円を 13,946 千円上回る 32,086 千円となり、達成率も176.88%となりました。
各年度の収支差額は、前述のとおり会館躯体・設備関連施設維持のための修繕計画内容等を要因とした経常費用支出の多寡に左右されることがあるものの、当期は収支差額(経常増減額)実績が予算額(事業計画)を大きく超過する結果となり、事業全体として順調に推移した年度となりました。

・過年度からの実績推移及び事業計画対比は次表のとおりです。

年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度		
経常増減額	37,971	41,752	20,685	20,685	48,646		
年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2024年度予算	達成率
経常増減額	36,035	27,916	35,398	40,245	32,086	18,140	176.88

(千円単位端数切捨・%)



2.事業別(会計別)の状況及び実績について

(1)実施(継続)事業会計

・公益目的支出計画に沿い継続して行う実施事業となります。具体的には、一般利用者に比べ廉価に料金を設定し、勤労者・学生に向け宿泊を提供する業務となります。(勤労者 3,500 円・小学生 1,500 円・中高大生 2,500 円⇒実施(継続)事業、一般 5,000 円⇒収益事業)

・２０２０年度からの３年間はコロナ感染症の影響により利用者の激減がありましたが、その後、感染状況の鎮静化や感染症分類変更などを契機とし徐々に回復傾向となり、当期も前期に引続き同様な結果となりました。内訳では、勤労者利用が対前年比 91 名増加の 1,035 名となり完全な回復レベルに達した反面、学生については、団体申込数や一団体の人数により利用者数が大きく変動する側面があり、対前年比では 46 名の減少となりました(小学生 111 名減の 90 名・中高大生 65 名増の 347 名)。結果として、全体利用者では対前年比 45 名増の 1,472 名となったものの、コロナ感染症拡大以前の状態までには戻りませんでした。

・利用実績推移は下表のとおりです。

年　度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
利用客数	2,031	2,303	382	646	840	1,427	1,472
うち小学生	223	385	1	2	110	201	90
うち中高大生	849	859	36	245	174	282	347
うち勤労者	959	1,059	345	399	556	944	1,035

(のべ人数)

・この結果、実施(継続)事業の経常収益は 4,628 千円となり、予算額(事業計画)3,300 千円に対し140.24%の実績となりました。また、経常費用 15,924 千円(事業費・執行率 102.14%)を差し引いた経常増減額も△11,296 千円となり予算(事業計画)にて設定したマイナス収支額以下に収めることができました。

・事業計画対比は下表のとおりです。

科　目	2024年度実績	2024年度予算	達成(執行)率
経常収益	4,628	3,300	140.24
経常費用	15,924	15,591	102.14
経常増減額	△ 11,296	△ 12,290	―

(千円単位端数切捨・%)

(2)収益事業会計

・マイナス収支が前提となる(1)の実施(継続)事業を行う上でも、会館運営に必要不可欠となる収益確保として、現在、宿泊(一般利用者向け)・貸室・販売・会議室・駐車場の５つの収益事業を行っております。

・収益の大きな割合を占める貸室事業については、テナント先の変更がなく、ほぼ計画どおりの実績となった他、それ以外の事業についても安定的な実績となりました。

・宿泊利用者数(一般利用者向け)は、対前年比では減少とはなりましたが、コロナ感染症の影響が無かった 2019 年度以前と比較すると大きな増加傾向が継続する結果となりました。増加の要因として、ネット経由申込の浸透が挙げられます。

・一方、会議室利用については、研修等の開催形態が集合型からウェブ方式化に変化したことによる大ホールの利用減少などの影響があったものの、対前年比では若干の増加となりました。

・宿泊(一般向け)利用および会議室利用実績推移は下表と通りとなります。

宿泊事業(一般)

年　度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
利用客数	478	399	45	103	472	715	632

(のべ人数)

会議室事業

年　度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
利用室数	723	697	651	617	754	651	661
備考			市役所コロナ対策関連　中ホール3か月連続使用あり				

半日・終日・延長それぞれ1カウント　(のべ回数)

・この結果、収益事業全体の経常収益は 204,212 千円で予算額(事業計画)202,290 千円に対し 101.05%となりました。また、経常費用 139,399 千円(事業費・執行率 95.26%)を差し引いた経常増減額も 64,813 千円で予算額(事業計画)55,751 千円に対し 116.25%の達成率となりました。

【経常費用(事業費)は、各事業に必要な面積(減価償却・共益費等)や従事割合(人件費等)によって按分されます。また、その年度により、特別に支出した経費：例えば会議室に使用する机，駐車場に必要な精算機の改修等は当該事業の経費となります。】

・事業別では、貸室及び販売・駐車場事業が経常増減額黒字となりました。

・収益事業の大きな特徴点として、経常増減額に占める貸室事業(テナント収入)の比率が 113.9%であり、現状の会館運営の根幹となっていることが挙げられます。

・2024 年度の収益事業の実績と予算(事業計画)対比は下表のとおりとなりました。

収益事業収支状況

部　門	科　目	2024年度予算	2024年度実績	達成率	収益事業に占める割合
宿泊事業(一般)	経常収益	3,000	3,449	114.97	1.7
	経常費用	5,253	5,371	102.25	3.9
	経常増減額	△ 2,253	△ 1,921	―	△ 3.0
貸室事業	経常収益	140,190	140,281	100.06	68.7
	経常費用	67,758	66,455	98.08	47.7
	経常増減額	72,431	73,825	101.92	113.9
販売事業	経常収益	28,000	27,804	99.30	13.6
	経常費用	33,522	27,251	81.31	19.5
	経常増減額	△ 5,522	546	―	0.8
会議室事業	経常収益	16,500	17,963	108.84	8.8
	経常費用	26,987	27,715	102.70	19.9
	経常増減額	△ 10,487	△ 9,751	―	△ 15.0
駐車場事業	経常収益	14,400	14,713	102.17	7.2
	経常費用	12,815	12,598	98.31	9.0
	経常増減額	1,584	2,114	133.46	3.3
収益事業計	経常収益	202,090	204,212	101.05	100
	経常費用	146,338	139,399	95.26	100
	経常増減額	55,751	64,813	116.25	100

(千円単位端数切捨・%)

・実施事業(継続)を含めた各事業別の過年度売上（計上収益)実績推移及び前年対比は、下表のとおりとなります。

事業別売上(経常収益)推移

年度		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
実施事業(継続)		5,947	6,194	6,679	5,816	6,433
収益事業	宿泊事業(一般)	2,979	3,547	3,307	2,561	2,218
	貸室事業	147,858	140,688	146,012	139,547	147,304
	販売事業	7,863	8,600	30,714	25,474	32,571
	会議室事業	19,022	20,125	20,454	19,144	19,039
	駐車場事業	15,051	12,159	15,657	14,353	14,552
(法人会計)		9	70,004	1,231	12	30,012
合計		198,730	261,321	224,057	206,909	252,131

年度		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	対前年比
実施事業(継続)		1,300	2,012	2,547	4,309	4,628	319
収益事業	宿泊事業(一般)	625	982	2,658	3,830	3,449	△ 381
	貸室事業	142,372	148,606	142,372	148,489	140,281	△ 8,208
	販売事業	26,035	26,350	29,063	32,469	27,804	△ 4,665
	会議室事業	19,845	17,059	20,979	17,690	17,963	273
	駐車場事業	15,022	15,060	15,109	15,268	14,713	△ 555
(法人会計)		13	11	209	21	144	123
合計		205,215	210,082	212,939	222,080	208,985	△ 13,095

(千円単位端数切捨)

※2016年度(株)勤労者サービスより寄付あり　※2017年度金券類(クオ・VJA)販売開始　※2019年度福祉基金協会より寄付あり

(3)法人会計を加えた事業全体概況

・前記(1)の実施事業会計および(2)の収益事業会計に法人の管理・運営費用となる(3)法人会計(管理費)を加えた、会館事業全体の(会計別)実績は下表のとおりとなりました。
法人会計(管理費)の執行率は、予算額(事業計画)25,330 千円に対し 21,574 千円となり、85.17%に収めることができました。

2024年度事業実績

科　　目	2-(1)実施事業会計			2-(2)収益事業等会計			2-(3)法人会計			合計(1.全体概況)		
	継続（宿泊）			5事業計			管理費					
	予算	実績	達成率	予算	実績	達成率	予算	実績	達成率	予算	実績	達成率
経常収益計	3,300	4,628	140.24	202,090	204,212	101.05	10	144	1,440.00	205,400	208,985	101.75
経常費用計	15,591	15,924	102.14	146,338	139,399	95.26	25,330	21,574	85.17	187,260	176,898	94.47
事業費計	15,591	15,924	102.14	146,338	139,399	95.26				161,930	155,323	95.92
管理費計							25,330	21,574	85.17	25,330	21,587	85.17
当期経常増減額	△ 12,290	△ 11,296	-	55,751	64,813	116.25	△ 25,320	△ 21,430	-	18,140	32,086	176.88

（単位：千円端数切捨、%）

3.公益目的支出計画について

⑴公益目的支出計画の実施状況について

当会館は、労働界・福祉事業団体・生協団体等の総意と、埼玉県をはじめとする県内各自治体のご理解と大きな協力をいただく中、昭和 52 年(1977 年)に財団法人として設立され、昭和 54 年(1979 年)9 月より営業開始となりました。その後、2000 年から 2008 年にかけて行われた法制度改正(法人改革)に伴い、平成 26 年(2014 年)4 月 1 日に財団法人から一般財団法人に移行し現在に至っております。

当該の公益目的支出計画とは、上記の法制度改正により一般財団法人へ移行が認められた時点で確定した公益目的財産(128,086,782 円)を、前記 2-⑴で記載した、勤労者・学生に廉価で宿泊を提供する実施事業(計画的に公益目的財産から支出)を継続して行うことにより、12 年の期間(2014.4.1～2026.3.31)で零とする計画です。

具体的には、各事業年度の公益目的支出額を 15,623,925 円、実施事業収入額を 4,840,000 円、その差となる公益目的収支差額△10,783,925 円を計画として設定し事業を継続してきました。

(10,783,925 円×12 年＝129,407,100 円＞128,086,782 円)

実際には、この実施事業開始以降の公益目的収支差額累計の実績が、コロナ感染症のまん延などを要因とし、計画値を上回り(収支差額幅拡大による公益目的財産残額の減少)推移してきたことから、完了時期が、当初期間(2026.3.31)より 1 年早まり計画開始後 11 年後にあたる 2024 年度末(2025.3.31)の見込みに(2021 年度事業終了時点より)変更となりました。

こうした状況が続いてきた中、当期における公益目的収支差額実績も、単年度計画△10,783,925 円を上回る△11,296,348 円となりました。〈当期公益目的支出額：計画(15,623,925 円)を 300,813 円上回る 15,924,738 円・当期実施事業収入額：計画(4,840,000 円)を 211,610 円下回る 4,628,390 円⇒
4,628,390 円-15,924,738 円＝△11,296,348〉

この結果、この当期収支差額実績に前年度末までの公益目的収支差額(累計)実績△124,676,808 円を加えた当期末の公益目的収支差額(累計)は、△135,973,156 円となり、公益目的財産を超過(128,086,782 円＜135,973,156 円)することとなったため、公益目的財産残額が零となることが確定しました。

従いまして、当法人の公益目的支出計画は、2025 年(令和 7 年)3 月 31 日に終了する事業年度に完了することが確実となりました。

⑵公益目的支出計画完了後の勤労者・学生に対する宿泊提供について

2024 年度をもって公益目的支出計画は完了しましたが、以降においても、これまで実施(継続)事業の対象となっていた、勤労者・学生に対する宿泊提供は、料金体系(利用資格による料金差)を維持しつつ、一般顧客を対象としてきた収益事業となる宿泊事業に含め当面は継続していくこととします。